

令和2年6月吉日

各 位

九州大学大学院医学系学府

保健学専攻長 佐々木 雅之

九州大学大学院医学系学府保健学専攻募集要項等の送付について

拝啓 新緑の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から、本学医学系学府保健学専攻の運営等に格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、大学院生募集チラシ、修士課程・博士後期課程リーフレット及び募集要項を作成しましたので、送付させていただきます。

ついては、大学院生募集チラシにて、周知いただきますようお願いいたします。

なお、出願希望の方から、貴職あて学生募集要項の請求方法等についてお尋ねがございましたら、本学医学系学府保健学専攻ホームページ

『大学院を目指す方へー入学案内』

( URL : <http://www.shs.med.kyushu-u.ac.jp//gs/guidance/index.html> ) をご覧いただくか或いは、下記連絡先あて照会いただくようお願いできれば幸いに存じます。

敬具

連絡先：医系学部等学務課保健学学生係

TEL 092-642-6680 / FAX 092-642-6674

E-mail : [ijghoken@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:ijghoken@jimu.kyushu-u.ac.jp)



## 九州大学大学院医学系学府保健学専攻 修士課程・博士後期課程

# 令和3年度 大学院生募集

●令和3年4月入学

### 修士課程入学試験日

**令和2年8月17日(月)**

出願期間:7月14日(火)~20日(月)

### 博士後期課程入学試験日

**令和2年9月10日(木)**

出願期間:8月19日(水)~24日(月)

- \*令和3年度入学者における入試説明会は、新型コロナウイルス感染防止のため開催を見合わせホームページにおいての案内とさせていただきます。
- \*個別相談は教員が個々に対応しますので、募集要項記載の参考資料『教員の研究テーマ』を参照し各教員へ直接メールにてご連絡ください。

《九州大学大学院医学系学府保健学専攻ホームページ》

<http://www.shs.med.kyushu-u.ac.jp/>



### 【問合せ先】

九州大学医学系学部等事務部学務課保健学学生係  
〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1  
TEL : 092-642-6680

- 地下鉄箱崎線「馬出九大病院前駅」下車徒歩約8分
- 鹿児島本線 JR「吉塚駅」下車徒歩約12分





Department of Health Sciences,  
Graduate School of Medical Sciences,  
Kyushu University

九州大学大学院医学系学府保健学専攻

# 修士課程

*Master Course*





## 保健学専攻の 基本理念

保健・医療・福祉に求められる多様な課題に対応するために、包括的、普遍的教育研究を通して保健学領域の学問体系を確立するとともに、新たな知的資源及び科学領域を創出し、その成果を地域及び国際社会に広く還元することを基本理念としている。そのため、本専攻は、「九州大学教育憲章」に則り、以下のような資質を持つ優れた人材を養成することを達成目標としている。

- ①豊かな人間性を備えた人材
- ②高度化する医療に対応できる人材
- ③全人的チーム医療に対応する人材
- ④少子高齢社会の医療に対応する人材

## 教育の 目的

保健学における創造性豊かな優れた研究・開発能力を有する教育者・研究者の養成及び保健学分野における研究アインツトを持った実践的指導者や組織リーダーを養成する。

## アドミッションポリシー

保健学専攻の学生には、幅広い人間性と高い倫理観を持ち、生命の尊厳や病む人の心を理解する深い感性を有することが求められる。

修士課程においては、(1) 教育を受けるための基礎学力を持ち、より深い専門性と倫理的思考方法を修得すること。(2) 多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質を有し、保健・医療・福祉における科学的知識や論理的思考方法を学び、研究アインツトを持った実践現場における指導者として、その成果を地域および国際社会の健康増進に寄与する意欲があること。(3) 保健学に対する強い興味と本質への高い追及意欲を持ち、主体的勉学と自己啓発に積極的に積極的であることが必要である。

看護学分野および助産師コース：看護学、および助産学分野の高度な専門的知識を習得し、質の高い看護実践に寄与するための研究アインツトを持っている者。さらに、将来、当該分野における実践現場における指導者や組織のリーダーとして国民の健康増進に寄与することに強い意志があること。

医用量子線科学分野：放射線技術科学分野および医学物理学分野の高度な専門的知識を習得し、研究アインツトを持った将来のリーダーを目指す高度な医療人をを目指す人材を求める。

検査技術科学分野：検査技術科学分野の高度な専門的知識を習得し、研究アインツトを持ち、将来検査技術科学分野のリーダーとなる高度な医療人をを目指す人材を求める。

## 専門分野の概要

### 看護学分野 Nursing Course

看護学は、あらゆる健康レベルの人々を支援する実践の科学であり、ケアを探求する学問です。

看護学分野では、臨床の場の変革に貢献できる実践的指導者・管理者とともに、行政・教育機関における教育者・研究者として活躍できる人材を育成することを目指しています。看護学分野には、臨床健康支援看護学領域と広域生涯発達看護学領域の2領域があります。

臨床健康支援看護学領域では、人間の健康行動と人々の自立を支援するための基礎となる基礎看護学にかかわる教育・研究を行います。さらに、さまざまな健康段階にある病む人を対象とした臨床看護学に関連する看護ケアの幅広い応用と実践についても体系的に教育・研究を行います。

広域生涯発達看護学領域では、高度実践に伴う助産師教育と各アインツトにおける健康課題を性と生殖の視点から研究を行います。

また、個人・家族・地域集団や組織、およびコミュニケーションに対する支援技術や支援システム構築等について体系的に教育・研究を行います。

## カリキュラム

共通科目	単位数
授業科目名	必修 選択
先端医療論	2
保健学研究論	2
国際社会とチーム医療	2
保健・医療とIT	1
医療安全管理学	1
医療と生命倫理	2
小計 (6科目)	5 5

- 修了要件
- (1) 共通科目から5単位以上
  - (2) 専門科目：16単位以上  
指導教員の指定する分野の専門科目の特別研究10単位と講義2単位、演習2単位以上を含む14単位以上を履修する。
  - (3) 残りの9単位以上は、共通科目、各分野専門科目から選択履修する。
  - (4) 専門科目については、専攻内の他分野の専門科目を履修することができる。

### 専門科目／看護学分野

授業科目名	単位数
看護研究方法論Ⅰ	2
看護研究方法論Ⅱ	2
看護教育論	2
看護組織・マネジメント論	2
基礎看護学特論Ⅰ	2
基礎看護学特論Ⅱ	2
臨床看護学特論Ⅰ	2
臨床看護学特論Ⅱ	2
発達看護学特論Ⅰ	2
発達看護学特論Ⅱ	2
地域看護学特論Ⅰ	2
地域看護学特論Ⅱ	2
看護学特別研究	10
小計 (13科目)	10 24

### 社会人学生に対する教育的配慮

- (1) インターネット活用：一部の講義については、講義内容を収録したビデオ映像や講義のスライドを電子化します。また、教員と学生間の質疑応答、レポート課題の通知や回収、研究指導にもインターネットを利用し、遠隔地や在宅での学習・研究活動を支援します。
- (2) 長期履修制度の導入：フルタイムの職業を有する社会人学生に対して長期履修制度を導入し、3年間の履修により修士課程の修了を可能とします。年間授業料は通常授業料の2/3とします。ただし、認定後の履修期間の変更は認めません。

専門科目／検査技術科学分野		
授業科目名	必修	選択
病態情報解析検査学	2	
病態情報機能検査学	2	
生体情報解析検査学	2	
生体情報機能検査学	2	
分子情報解析検査学	2	
分子情報機能検査学	2	
病態情報解析検査学演習	2	
病態情報機能検査学演習	2	
生体情報解析検査学演習	2	
生体情報機能検査学演習	2	
検査技術科学特別研究	10	
小計 (11科目)	10	20

### 医用量子線科学分野 Medical Quantum Science Course

医用量子線科学分野は、放射線医学と医用理工学に関する学問分野です。臨床現場での実践的指導者、大学研究者、企業での新しい医療機器開発者などへ発展する人材を育成します。基礎的放射線科学領域、医用放射線科学領域の2領域があります。医用量子線科学分野(修士課程)は、医学物理士認定機構により「医学物理士・放射線治療品質管理士養成コース」(すべての分野を含む)として認定されています。

基礎放射線科学領域では、光子、粒子線などの量子線の発生、分子機能画像、形態画像の基礎となる生体物質との相互作用、量子線の生体効果、生体情報抽出、イメージング等に関する教育・研究を行います。

医用放射線科学領域では、光子や粒子線などの量子線を用いたさまざまな画像診断機器で得られる医用画像の特徴、画像の解析、画像情報の管理、複数のモダリティを組み合わせた画像情報の利用法やコンピュータ支援診断システムなどの臨床的テーマについて教育・研究を行います。

### 検査技術科学分野 Medical Technology Course

臨床検査技術科学の教育及び創造的な研究を行う教育者・研究者として寄与できる人材、臨床現場における実践的指導者・専門家へ発展する人材の育成を目指しています。この目的で、生体情報学領域、病態情報学領域の2領域で構成します。

生体情報学領域では、生体機能を維持するメカニズムの解析や、診療に有用な情報を臨床に提供するための検査法・検査技術、最新の先端的検査技術検査機器により得られた情報の処理などについて教育・研究を行います。

病態情報学領域では、ホルモンの解析技術、造血機構の形態学的・細胞生物学的解析法、免疫異常の解析、病理細胞診断法など、臨床現場で求められる高度な知識・臨床検査技術について教育・研究を行います。

## 助産学コース カリキュラム

Advanced Midwifery Course

共通科目	単位数
授業科目名	必修 選択
保健学研究論	2
国際社会とチーム医療	2
保健・医療とIT	1
医療安全管理学	1
医療と生命倫理	2
小計 (5科目)	5 3

- 修了要件
- (1) 共通科目から次の3科目5単位を含む7単位以上  
保健学研究論、国際社会とチーム医療、保健・医療とIT
  - (2) 専門科目から次の3科目14単位  
看護研究方法論Ⅰ、看護研究方法論Ⅱ、看護学特別研究
  - (3) 専門科目の選択必修科目から9単位以上  
※ 助産師国家試験の受験資格について  
助産師国家試験の受験資格には、助産学コース修了要件の30単位以外に、助産学専門科目の28単位の修得が必要です。

### 専門科目

授業科目名	単位数
高次助産診断・技術学演習	1
周産期の薬理学	1
Women's Health 補充代替医療	1
Women's Health カンセリン論	1
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅰ	1
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅱ	1
地域国際母子保健論Ⅰ	1
助産学総合演習Ⅰ (ハイリスク・Women's Health, NICU 総合管理)	2
助産学総合演習Ⅱ (国際助産)	1
看護研究方法論Ⅰ	2
看護研究方法論Ⅱ	2
看護学特別研究	10
小計 (12科目)	14 10

### 専門科目／助産学専門科目

授業科目名	必修	選択
基礎助産学	2	
リプロサインエンスⅠ(周産期・乳幼児)	2	
リプロサインエンスⅡ(婦人科・不妊・遺伝・メンタル)	2	
Women's Health	2	
助産診断・技術学Ⅰ(妊娠期)	2	
助産診断・技術学Ⅱ(分娩)	2	
助産診断・技術学Ⅲ(産褥期・新生児・乳幼児期)	2	
地域国際母子保健論Ⅰ	1	
助産学実習Ⅰ	1	
助産学実習Ⅱ	1	
小計 (12科目)	0	28



## 入学定員等

専攻	分野	募集人数
保健学	看護学 医用量子線科学 検査技術科学 助産学コース アジア保健学コース	27名 (助産学コース7名含)

入学資格について 次のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の過程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号参照)
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院の学府において、本大学院の学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたる者
- ⑩ 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者で、22歳に達した者

注1) ⑨、⑩の入学資格により出願しようとする者は、出願に先立ち、個別の出願資格審査が必要です。  
 注2) 助産学コースを志願できる者は、上記の入学資格のいずれかに該当し、入学時に看護師免許を有する女子とする。  
 注3) 出願にあたっては、必ず指定された事前相談窓口教員に事前相談を行ってください。



- JR吉塚駅下車 徒歩約15分
- 地下鉄「馬出九大病院前」下車 徒歩約10分

### お問い合わせ先

九州大学医系学部等学務課保健学学生係  
 〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号  
 TEL 092-642-6680  
 E-mail : ijghoken@jimu.kyushu-u.ac.jp



Department of Health Sciences,  
Graduate School of Medical Sciences,  
Kyushu University

九州大学大学院医学系学府保健学専攻

# 博士後期課程

Ph.D. Course



九州大学

# 九州大学大学院医学系学府 保健学専攻博士後期課程

Department of Health Sciences,  
Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University

## 保健学専攻の 基本理念

保健・医療・福祉に求められる多様な課題に対応するために、包括的、普遍的教育研究を通して保健学領域の学問体系を確立するとともに、新たな知的資源及び科学領域を創出し、その成果を地域及び国際社会に広く還元することを基本理念としている。そのため、本専攻は、「九州大学教育憲章」に則り、以下のような資質を持つ優れた人材を養成することを達成目標としている。

- ①豊かな人間性を備えた人材
- ②高度化する医療に対応できる人材
- ③全人的チーム医療に対応する人材
- ④少子高齢社会の医療に対応する人材
- ⑤医療の情報化に対応する人材
- ⑥教育・研究者へと発展可能な人材
- ⑦国際医療の場で活躍できる人材

## 教育の 目的

保健学領域における豊かな学識の滋養を基盤としつつ、自立した研究活動を行う能力を持つ教育者・研究者、看護・医療技術領域における実践能力と高い教育・研究能力を併せ持つ人材を養成する。同一キャンパス内では、医学、歯学、薬学の博士課程教育が既に実施されており、医療に関連した他領域の有機的な連携を推進し、保健学領域における教育・研究の拠点を形成することにより、その成果を地域社会・国際社会へと還元する。

## アドミッションポリシー

保健学専攻の学生には、幅広い人間性と高い倫理観を持ち、生命の尊厳や病む人の心を理解する深い感性を有することが求められる。

博士後期課程においては、修士課程入学希望者に求める(1)教育を受けるための基礎学力を持ち、より深い専門性と倫理的思考方法を修得すること。(2)多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質を有し、保健・医療・福祉における科学的知識や論理的思考方法を学び、研究マインドを持った実践現場における指導者として、その成果を地域および国際社会の健康増進に寄与する意欲があること。(3)保健学に対する強い興味と本質への高い追及意欲を持ち、主体的勉学と自己啓発に積極的であることが必要である。に加え(4)保健学領域において自立した研究能力を併せもつ実践現場における指導者、大学や研究所等における教育者・研究者となり、国民の健康増進に寄与することに強い意欲があることが必要である。

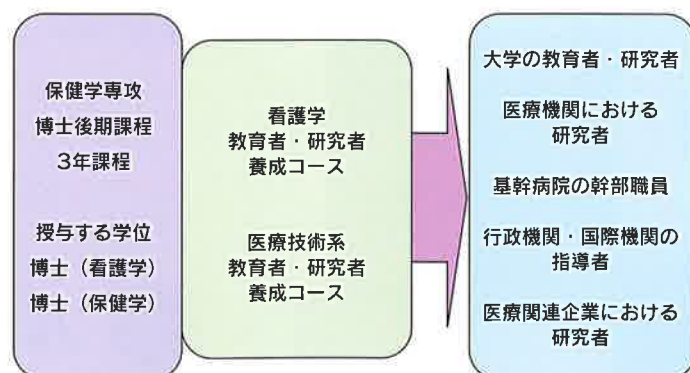
### ●看護学教育者・研究者養成コース

看護実践を展開するうえで必要となる柔軟な問題解決能力を有し、保健・医療に関する問題をグローバルな視野でとらえるための基礎的能力を有する者。さらに、将来、研究者・教育者として自立し、独創的な研究・教育活動を行うことに対する強い意志があること。

### ●医療技術系教育者・研究者養成コース

研究者・教育者として、自立し独創的研究・教育活動を行い、かつ高度に専門的な業務に従事するために必要な柔軟な問題解決能力およびその基礎となる豊かな学識とグローバルな視野をもつ人材を求める。

九州大学大学院医学系学府保健学専攻博士後期課程の概要



## 本専攻における教育の特徴

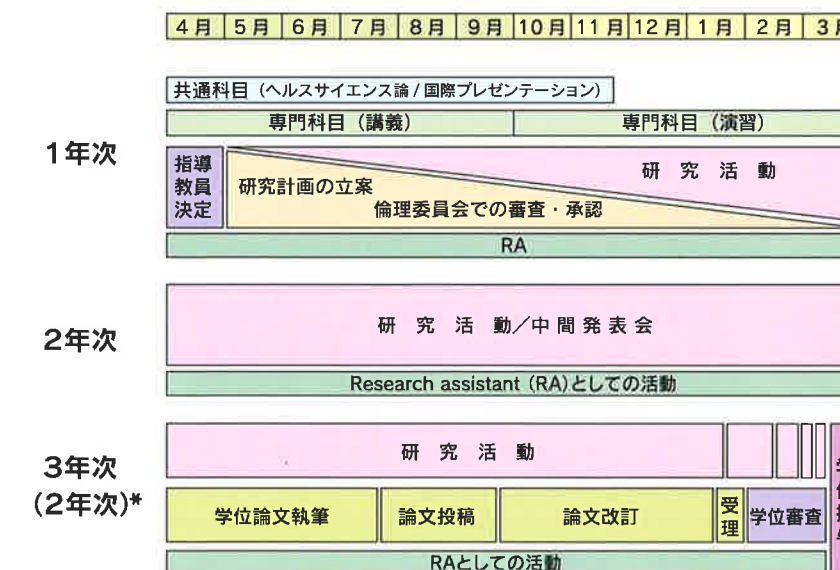
保健学専攻博士後期課程は、主として看護学、医用量子線科学(放射線技術科学)、検査技術科学を専攻する学生を対象としていますが、保健学領域以外の分野を専攻した学生の入学も可能です。このような学生は、医学部保健学科および保健学専攻修士課程で開講されている授業科目の中から、学生自身の目的に沿った科目を選択、履修することにより保健学領域の基礎的知識を修得することができます。

## カリキュラム

保健学専攻共通科目(必修)	
ヘルスサイエンス論	(2単位)
国際プレゼンテーション	(2単位)
保健学専門科目(選択)	
看護教育方法開発学Ⅰ(講義)	(2単位)
看護教育方法開発学Ⅱ(演習)	(2単位)
健康支援ケアシステム論Ⅰ(講義)	(2単位)
健康支援ケアシステム論Ⅱ(演習)	(2単位)
母子発達ケアシステム論Ⅰ(講義)	(2単位)
母子発達ケアシステム論Ⅱ(演習)	(2単位)
地域生活ケアシステム論Ⅰ(講義)	(2単位)
地域生活ケアシステム論Ⅱ(演習)	(2単位)
国際医療システム論(講義)	(2単位)
量子線理工科学Ⅰ(講義)	(2単位)
量子線理工科学Ⅱ(演習)	(2単位)
臨床量子線科学Ⅰ(講義)	(2単位)
臨床量子線科学Ⅱ(演習)	(2単位)
生体情報解析学Ⅰ(講義)	(2単位)
生体情報解析学Ⅱ(演習)	(2単位)
病態情報解析学Ⅰ(講義)	(2単位)
病態情報解析学Ⅱ(演習)	(2単位)

特別研究(必修)	
保健学特別研究	(6単位)

## 学位取得までの履修プログラム



\*優れた業績をあげた者に対しては、2年次終了時に学位を授与する

## 修了要件

博士後期課程修了のためには、本課程に3年以上在学して14単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

履修科目は、共通科目4単位、専門科目のうち講義および演習をそれぞれ2単位以上の計4単位以上、保健学特別研究6単位の合計14単位以上とし、指導教員の指導に基づき選択します。

ただし、在学期間に関しては、学府教授会が優れた業績を上げたことと認められた者については、2年以上在学すれば足りるものとします。

## 社会人学生に対する教育的配慮

本専攻には多くの社会人学生の入学が想定されますので、下記のような支援を行います。

- 教育・指導時間の工夫：職場における勤務時間等に配慮し、必要に応じて夜間、土曜日・日曜日、夏期・冬期休業日などを利用した授業を行います。
- インターネットの活用：一部の講義については、講義内容を収録したビデオ映像や講義のスライドを電子化します。また、教員と学生間の質疑応答、レポート課題の通知や回収、研究指導にもインターネットを利用し、遠隔地や在宅での学習・研究活動を支援します。
- 長期履修制度の導入：フルタイムの職業を有する社会人学生に対して長期履修制度を導入し、4年間の履修により博士後期課程の修了を可能とします。年間授業料は通常授業料の3/4とします。ただし、認定後の履修期間の変更は認めません。



# 九州大学大学院医学系学府保健学専攻博士後期課程

Department of Health Sciences,  
Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University

## 授与する学位

博士(看護学) Doctor of Philosophy in Nursing  
博士(保健学) Doctor of Philosophy in Health Sciences

入学定員 10名

入学資格 次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学(以下「国際連合大学」という。)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、第27条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号、平成13年文部科学省告示第55号)
  - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
  - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、24歳に達した者

注1) (8)の入学資格により出願しようとする者は、出願に先立ち、個別の出願資格審査が必要です。

注2) 出願にあたっては、必ず指定された事前相談窓口教員に事前相談を行ってください。



- JR吉塚駅下車 徒歩約15分
- 地下鉄「馬出九大病院前」下車 徒歩約10分

## お問い合わせ先

九州大学医学部等学務課保健学学生係  
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号  
TEL 092-642-6680  
E-mail : ijghoken@jimu.kyushu-u.ac.jp



九州大学大学院医学系学府  
保健学専攻修士課程

Department of Health Sciences, Graduate School of Medical Sciences

# 学生募集要項

KYUSHU UNIVERSITY

令和3年度  
**2021**

看護学分野  
医用量子線科学分野  
検査技術科学分野  
助産学コース

九州大学

九州大学大学院医学系学府  
保健学専攻博士後期課程

Department of Health Sciences, Graduate School of Medical Sciences

# 学生募集要項

KYUSHU UNIVERSITY

令和3年度  
**2021**

看護学教育者・研究者養成コース  
医療技術系教育者・研究者養成コース

**九州大学**





**九州大学**  
KYUSHU UNIVERSITY

問い合わせ先

**九州大学医系学部等学務課保健学学生係**

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号  
TEL 092(642)6680  
8時30分～17時（土日祝は除く）

**URL <http://www.shs.kyushu-u.ac.jp/gs/index.html>**